

会 告

第4回西山記念技術講座開催のお知らせ

—— 鉄鋼の凝固現象 ——

本会では、下記により第4回西山記念技術講座を開催いたします。おさそいあわせのうえ、多数ご来聴下さいませようご案内申し上げます。

記

1. 期 日 昭和44年6月3日(火)、4日(水)
2. 会 場 農協ホール(東京都千代田区大手町1-5)
(国電東京駅丸の内北口下車徒歩約10分 農協ビル9階)
(地下鉄丸の内線・東西線大手町下車)
3. プログラム
 - 鉄鋼の凝固現象 —
 - 第1日(6月3日(火) 9:30~15:30)
 - 9:30 凝固に関する基礎的諸問題 北海道大学 高橋忠義君
 - 13:00 リムド鋼・セミキルド鋼の凝固組織 富士製鉄 浅野鋼一君
 - 第2日(5月4日(水) 9:30~15:30)
 - 9:30 連続鑄造における凝固状の問題 住友金属工業 牛島清人君
 - 13:00 特殊造塊法 日本製鋼所 中川義隆君
4. 聴講無料 事前の申し込みは不要です。
5. テキスト代 1000円
6. 別刷 1講師分 300円

溶鉄、溶滓の物性に関する討論会(第5回)のお知らせ

— 溶融金属および溶滓の比熱、混合熱、生成熱について —

日本鉄鋼協会、日本金属学会、日本学術振興会合同の鉄鋼基礎共同研究会溶鋼溶滓部会では3月28日~30日開催の日本鉄鋼協会春季講演大会・日本金属学会春季講演大会に引き続き、上記テーマに関し研究の現状、問題点などにつき下記により討論会を開催いたします。奮つてご参加下さるようご案内申し上げます。

記

- | | | | | |
|-------|---|-------|-----------|-----------|
| 日 時 | 昭和44年3月31日(月) 9:30~16:00 | | | |
| 場 所 | 神田学士会館 | | | |
| 講演予定 | 1. 高温における熱量測定法 | 東北大 | 不破 | 祐君・萬谷 志郎君 |
| | 2. 高温熱量計の試作と予備実験 | 東北大 | 不破 | 祐君・井口 泰孝君 |
| | 3. 高温における金属の迅速熱量測定法 | 八幡技研 | 山口 | 紘君 |
| | 4. 断熱型熱量計による溶融金属の混合熱測定について | 東北大選研 | 矢沢 | 彬君・板垣乙米生君 |
| | 5. カロリメトリーによる融体の熱力学について | 京大工 | 森山徐一郎君・大石 | 敏雄君 |
| | | 大阪大工 | 幸塚 | 善作君 |
| | 6. 溶融塩の比熱生成熱について | 東北大金研 | 竹内 | 栄君 |
| 討論会資料 | 予定価格 400円
日本鉄鋼協会春季講演大会の会場受付、または当日の受付で頒布いたします。 | | | |
| 連絡先 | 東京都千代田区大手町 1-5 経団連会館内
日本鉄鋼協会事務局 樋口允宏 (03)279-6021 (〒100) | | | |

SID (Selective Dissemination of Information) の刊行

英国鉄鋼協会が 1969年1月1日より Iron and Steel Industry Profiles 紹介紙として SDI (週刊) を発刊することになり、当協会あて会員に周知方の要望がありましたので次のとおりお知らせします。

購読ご希望の方や、詳細をお知りになりたい方は購読申し込み先、英国鉄鋼協会にお問い合わせ下さい。

記

1. SDI の内容

- 1) 英国鉄鋼協会が発行するアブストラクト紹介
- 2) “ の英国鉄鋼協会の図書館が収集した本からの適切なものの紹介
- 3) 英国鉄鋼協会が発行する Translations の適切なものの紹介

2. 注文方法

表「年間購読料」の左側に記載されている。20項目別に毎週1部ずつ SDI が発行されます。項目によつて、購読申し込みをすることになります。種々な仕事の分野に適当な項目を分類すると次のようになりますので、項目を選択する時の参考にして下さい。

MAIN FUNCTIONAL INTEREST OF AN INDIVIDUAL SUBSCRIBER

IRONMAKING

STEELMAKING

ROLLING

METAL WORKING
EXCLUDING ROLLING

CASTING

HEAT TREATMENT

IRON AND STEEL

WORKS ENGINEERING

METALLURGICAL

RESEARCH

LETTER DESIGNATIONS AND TITLES OF SUGGESTED MINIMUM NUMBER OF COMBINED PROFILES OF INTEREST

R—Ore and mineral handling and beneficiation

S—Ironmaking

T—Steelmaking

P—Fuels, combustion and refractories

K—Steels and alloys (technical applications and methods
of production), cermets

W—Extraction and refining

H—Rolling

N—Heating, heating furnaces and electric heating

G—Protection of materials

J—Metal working, excluding rolling

L—Casting and cast metals, including continuous casting

M—Heat treatment

X—Engineering

Q—Welding and Joining

B—Physical structure of materials and crystallography

C—Physical metallurgy and metallography

D—Physical properties and chemical analysis

E—Mechanical properties and material defects

F—Corrosion and corrosion testing

3. 価 格

年間購読料は、次の表のとおりです。

1人の人が毎週2部以上購入の場合は、正価約 2/3 になります。

また団体として購入する場合、1人が毎週2部以上購入し、その団体として毎週50部以上の場合には正価の1/3 になります。

4. 購読申し込み先

Mr. M. L. Pearl

Librarian and Head of the Information Dept. The Iron and Steel Institute
4, Grosvenor Gardens, London S. W. I. England

< SDI の年間購読料 >

DESCRIPTION

ANNUAL COST (EXCLUDING POSTAGE)

Profile Letter	Title	Estimate of Average number of Abstracts etc. in each week's issue	Schedule 1		Schedule 2		Schedule 3	
			Normal Price		(see note 3)		(see note 3)	
			Members of Iron and Steel Institute	Non- Members	Members of Iron and Steel Institute	Non- Members	Members of Iron and Steel Institute	Non- Members
A	Management, Planning and Control	7	£ 6 14·40	\$ 9 21·60	£ 4 9·60	\$ 6 14·40	£ 2 4·80	\$ 3 7·20
B	Physical Structure of Materials and Crystal- lography	11	£ 9 21·60	\$ 15 36·00	£ 6 14·40	\$ 10 24·00	£ 3 7·20	\$ 5 12·00
C	Physical Metallurgy and Metallography	13	£ 15 36·00	\$ 21 50·40	£ 10 24·00	\$ 14 33·60	£ 5 12·00	\$ 7 16·80
D	Physical Properties and Chemical Analysis	11	£ 9 21·60	\$ 15 36·00	£ 6 14·40	\$ 10 24·00	£ 3 7·20	\$ 5 12·00
E	Mechanical Properties and Material Defects	17	£ 15 36·00	\$ 21 50·40	£ 10 24·00	\$ 14 33·60	£ 5 12·00	\$ 7 16·80
F	Corrosion and Corrosion Testing	7	£ 6 14·40	\$ 9 21·60	£ 4 9·60	\$ 6 14·40	£ 2 4·80	\$ 3 7·20
G	Protection of Materials	10	£ 9 21·60	\$ 15 36·00	£ 6 14·40	\$ 10 24·00	£ 3 7·20	\$ 5 12·00
H	Rolling	13	£ 15 36·00	\$ 21 50·40	£ 10 24·00	\$ 14 33·60	£ 5 12·00	\$ 7 16·80
J	Metal Working Excluding Rolling	12	£ 15 36·00	\$ 21 50·40	£ 10 24·00	\$ 14 33·60	£ 5 12·00	\$ 7 16·80
K	Steel Alloys (Technical Applications and Me- thods of Production) and Cermets	13	£ 15 36·00	\$ 21 50·40	£ 10 24·00	\$ 14 33·60	£ 5 12·00	\$ 7 16·80
L	Casting and Cast Metals	9	£ 9 21·60	\$ 15 36·00	£ 6 14·40	\$ 10 24·00	£ 3 7·20	\$ 5 12·00
M	Heat Treatment	9	£ 9 21·60	\$ 15 36·00	£ 6 14·40	\$ 10 24·00	£ 3 7·20	\$ 5 12·00
N	Heating, Heating Furna- ces and Electric Heating	4	£ 6 14·40	\$ 9 21·60	£ 4 9·60	\$ 6 14·40	£ 2 4·80	\$ 3 7·20
P	Fuel Combustion and Refractories	5	£ 6 14·40	\$ 9 21·60	£ 4 9·60	\$ 6 14·40	£ 2 4·80	\$ 3 7·20
Q	Welding and Joining	5	£ 6 14·40	\$ 9 21·60	£ 4 9·60	\$ 6 14·40	£ 2 4·80	\$ 3 7·20
R	Ores and Minerals Hand- ling and Beneficiation	6	£ 6 14·40	\$ 9 21·60	£ 4 9·60	\$ 6 14·40	£ 2 4·80	\$ 3 7·20
S	Ironmaking and Ferro- Alloys	8	£ 9 21·60	\$ 15 36·00	£ 6 14·40	\$ 10 24·00	£ 3 7·20	\$ 5 12·00
T	Steelmaking	11	£ 9 21·60	\$ 15 36·00	£ 6 14·40	\$ 10 24·00	£ 3 7·20	\$ 5 12·00
W	Extraction and Refining	7	£ 6 14·40	\$ 9 21·60	£ 4 9·60	\$ 6 14·40	£ 2 4·80	\$ 3 7·20
X	Engineering	6	£ 6 14·40	\$ 9 21·60	£ 4 9·60	\$ 6 14·40	£ 2 4·80	\$ 3 7·20

薄鋼板成形技術研究会公開研究会開催案内

主催 薄鋼板成形技術研究会
 協賛 塑性加工学会，日本鉄鋼協会，自動車技術会
 日時 昭和44年3月27日(木) 9:00～17:00
 場所 大和証券ビル8階ホール（東京都中央区八重洲1丁目2番地の4）
 電話 東京 (231) 0195 番 (代表)

プログラム

- | | |
|---------------------------|-----------------|
| I 薄鋼板成形技術研究会活動状況 | 東 大 五 弓 勇 雄 |
| II プレス成形における変形と破断ひずみ | |
| スクライプトサークルテストによる破断ひずみ | 日 産 山 添 建 夫 |
| 関連討論 モデル実験との対応 | 八 幡 菊 間 敏 夫 |
| プレス条件を変えた場合の変形挙動 | ダイハツ 阿 部 喜 一 |
| 全体とのつながり，難易度について | トヨタ 村 田 倉 一 |
| プレス成形における変形経路 | 東 洋 工 飯 田 博 孝 |
| 関連討論 薄鋼板の二次成形性について | 富 士 鉄 小 森 田 浩 |
| 変形状態図の応用について | 理 研 宮 内 邦 雄 |
| 破断ひずみ量への変形経路の影響 | 八 幡 中 島 浩 衛 |
| 関連討論 Wall Breakage 対象部の変形 | |
| 限界と変形経路 | 住 金 林 豊 |
| 局部成形と全体成形の関係づけの検討 | 鋼 管 上 野 康 |
| 破断ひずみと材料特性 | 富 士 鉄 北 西 碩 |
| 関連討論 加工硬化特性の表現方法 | 川 鉄 中 川 吉 左 衛 門 |
| 剪断面の変形能について | 理 研 中 川 威 雄 |
| III 招待討論 | |
| 横浜国大 工 藤 英 明 | |
| 名古屋大学 戸 沢 康 寿 | |
| IV パネル討論 | |
| 自動車生産と薄鋼板 | 司 会 理 研 吉 田 清 太 |
| 自動車生産におけるプレス加工の位置 | 東 洋 工 小 林 敏 郎 |
| 鉄鋼生産における自動車連用鋼板の生産の現状 | 富 士 鉄 細 木 敏 郎 |
| 鉄鋼メーカーに対する希望 | トヨタ 小 林 徳 夫 |
| カーメーカーに望む | 八 幡 石 原 重 利 |
| 研究陣に対する希望 | 日 産 遠 藤 卓 郎 |
| 研究陣に関する希望 | 鋼 管 山 田 浩 蔵 |
| 聴 講 無 料 テキスト 500円 | |

日本工学会第 24 回見学会のお知らせ

日本工学会主催で，下記により見学会を催します。この見学会は傘下各学協会所属会員の方々に気楽に見学して頂くことを目標としています。奮つてご参加下さい。

記

日 時 4月15日(火) 14:00～16:30
 見 学 先 日本鋼管(株)水江工場(製鉄部門)
 定 員 80名に限り先着順に参加証をお送りいたします。
 集 合 当日 13:30 に国鉄川崎駅東口下車サイカヤデパート隣の臨港バス停留所に参集のこと。
 申込期限 3月31日 はがきに第24回見学会申込と書き，住所，氏名，所属学会，勤務先を書き，日本工学会宛申込むこと。
 東京都港区芝琴平町三五船作振興ビル 日本造船学会内
 日 本 工 学 会 (Tel. 502-2049)

— 特別報告書 —

『日ソ製鋼物理化学シンポジウム論文集(1967年度)』刊行のお知らせ

昭和 42 年 5 月本会が派遣した訪ソ学術使節団の報告書「日ソ製鋼物理化学シンポジウム論文集・1967年度」がこのたび刊行の運びとなりました。

この書は的場幸雄氏(富士鉄中研所長)を団長とする松下幸雄(東大教授), 盛利貞(京大教授), 不破祐(東北大学教授), 瀬川清(八幡), 山崎恒友(富士), 中川義隆(日鋼)の各団員および A. M. SAMARIN 氏を中心としたソ連側からのシンポジウム提出論文(22件)を中心に, 研究所, 大学の見学記, ならびに各団員のソ連における感想をまとめたものであります。購読ご希望の方は下記によりお申し込み下さい。

記

書 名 「日ソ製鋼物理化学シンポジウム論文集(1967年度)」 211 ページ B 5 判 上製本
 価 格 会員 1900 円, 非会員 2500 円(送料不要)
 申込方法 所要部数, 送り先, 氏名を記し, 代金を添え現金書留にてお申し込み下さい。
 申 込 先 東京都千代田区大手町 1-5 経団連会館 3 階 日本鉄鋼協会 編集課(〒番号 100)

論文題目

- (1) 鉄鉱石のガス還元における速度論と機構
- (2) 酸化鉄還元における酸素分圧の連続測定
- (3) 金属酸化物固溶体の還元に関する熱力学
- (4) ペレットの還元膨脹 (swelling)
- (5) ロッキング炉による溶鉄の脱硫に関する研究
- (6) 酸素および Fe_2O_3 による溶鋼の脱炭反応
- (7) 溶融塩および金属融液の熱力学と構造
- (8) 溶融 CaO-SiO_2 , $\text{CaO-SiO}_2\text{-Al}_2\text{O}_3$, $\text{CaO-SiO}_2\text{-TiO}_2$, $\text{CaO-SiO}_2\text{-FeO}$ 系の 1550°C における水蒸気溶解度
- (9) 溶融酸化物の半導体について
- (10) 浮揚溶解による脱酸剤の酸化に関する研究
- (11) アーク溶接時の脱酸反応
- (12) 溶融鉄および溶融 18Cr-8Ni-Fe 合金の Ti 脱酸
- (13) ニッケルおよびニッケル・クロム融体の脱酸
- (14) 溶融金属の諸性質と構造
- (15) 溶鉄の粘性について
- (16) 金属融体の電子構造
- (17) 溶鉄の短範囲規則性構造と溶鉄への窒素の溶解度
- (18) 溶融合金の微視的不均一性と鋼脱酸の問題
- (19) 鉄炭化物溶融合金の熱力学に関する 2, 3 の問題
- (20) 希薄溶体の成分の活量を計算する方法
- (21) 溶液の微視的不均一性
- (22) 珪素鋼板の脱炭について

S. T. ROSTOVTSV

松下幸雄, ほか

A. N. MEN, ほか

不破 祐

松下幸雄

不破 祐, ほか

I. T. SRYVALIN

不破 祐, ほか

E. A. PASTUKHOV, ほか

盛 利貞

瀬川 清

〃

V. V. AVERIN

A. SAMARIN

中川義隆

V. V. GRIGOROVICH

A. SAMARIN

A. A. VERTMAN

L. A. SHVARTSMAN

I. S. KULIKOW

N. N. SIROTA

山崎恒友

— 特別報告書 —

「わが国における最近の分塊技術の進歩」刊行のお知らせ

日本鉄鋼協会共同研究会鋼板部会分塊分科会報告

弊会では日本鉄鋼協会共同研究会鋼板部会分塊分科会報告書「わが国における最近の分塊技術の進歩」を 8 月発行いたしました。

ご承知のとおり, 分塊工場の機能は, 一貫鉄鋼製造工程において, 製鋼工場と成品圧延工場の間に位し, 工程管理的には, 両者間の緩衝作用をなし, また品質的には成品圧延で要求される諸条件を備えた材料を供給するという, きわめて重要, かつ不可欠のものであります。

本書は, 分塊における最近の技術, 進歩を主体に編集したもので, わが国分塊技術の現状を総合的に把握し, 将来の技術向上, 専門知識の修得, また社内教育のためにも貴重な資料であります。購読ご希望の方は下記によりお申し込み下さい。なお, 本書は限定版でございますので早日にお申し込み下さいますようお願いいたします。

記

書 名 「わが国における最近の分塊技術の進歩」(B 5 版 272 ページ 上製本)
 価 格 会 員 1900 円 非会員 2400 円(送料不要)
 申込方法 所要部数, 送り先, 氏名を記し, 代金を添え現金書留にてお申し込み下さい。
 申 込 先 東京都千代田区大手町 1-5 経団連会館 3 階
 日本鉄鋼協会 編集課(〒番号 100)